

鉄道と港がつながるまち 敦賀を歩く

令和5年

11月3日(金・祝)

古代から交通の要衝として栄えた敦賀。

明治時代に入るといち早く鉄道が開設され、鉄道と港がつながるまちとして発展してきました。そんな近代・敦賀のまちなみを古写真で思い浮かべながらまちを巡ります。

○講師(案内役):敦賀市立博物館 学芸員 藤本悠希

【午前の部】

- 10時00分 敦賀駅オルパーク多目的室 集合 →イントロダクション
- 10時15分 敦賀駅出発→眼鏡橋
- 11時30分 本町通り→氣比神宮
- 12時30分 敦賀市立博物館(自由見学) 一旦解散

【午後の部】

- 14時00分 敦賀市立博物館 集合
- 15時00分 敦賀倉庫→赤レンガ倉庫
- 15時30分 赤レンガ倉庫→ランプ小屋
- 16時00分 人道の港敦賀ムゼウム(自由見学)解散

※集合時刻以外はあくまで目安であり、前後する場合があります。

※午前・午後の部のみの参加も可能です。

このイベントは敦賀市立博物館と氣比史学会による共同事業です。

お問い合わせ・予約
敦賀市立博物館

〒914-0062

福井県敦賀市相生町7-8

☎0770-25-7033

✉museum@ton21.ne.jp

[参加費]200円

[定員]30名(予約順)

小雨決行、荒天中止

(中止の場合は博物館HP等でお知らせします)

ご家族でのご予約大歓迎!

中学生未満のお子様は保護者の方とご参加ください。

10月1日(日)予約開始